

報道機関各位

2012年5月25日
塩野義製薬株式会社

カルバペネム系抗生物質注射製剤
「フィニバックス®点滴静注用0.25g、同0.5g、フィニバックス®キット点滴静注用0.25g」の
化膿性髄膜炎の効能・効果及び小児に対する用法・用量の承認取得について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、カルバペネム系抗生物質注射製剤「フィニバックス®点滴静注用0.25g、同0.5g、フィニバックス®キット点滴静注用0.25g」（一般名：ドリペネム水和物）につきまして、本日、化膿性髄膜炎の効能・効果及び小児に対する用法・用量の承認を取得しましたので、お知らせいたします。

「フィニバックス®」は、塩野義製薬で創製されたカルバペネム系抗生物質注射製剤で、グラム陽性菌からグラム陰性菌、好気性菌から嫌気性菌に対し強力かつ幅広い抗菌スペクトルを有し、特に、重症・難治性感染症の原因菌として治療上問題となっている緑膿菌に対しても強い抗菌力を示すことから、中等症から重症の各科領域感染症に有用性の高い薬剤として使用されています。日本国内では、0.25gバイアルの「フィニバックス®点滴静注用0.25g」及び利便性・無菌性・確実性に優れた「フィニバックス®キット点滴静注用0.25g」（注射用抗生物質とその溶解液のキット製品）に加え、昨年4月の高用量（1日最大3g）の用法・用量の承認取得を踏まえ、2011年11月より0.5gバイアルの「フィニバックス®点滴静注用0.5g」を販売しています。

これまでの成人の効能・効果、用法・用量に、新たに化膿性髄膜炎の効能・効果及び小児に対する用法・用量が追加されたことにより、メディカルニーズへの更なる貢献ができるものと考えております。

塩野義製薬は、感染症治療薬の国内トップメーカーとして、細菌感染症やウイルス感染症を中心とする感染症の治療にグローバルに貢献し続けるために、今後も研究開発活動や販売における情報提供活動に注力してまいります。

以上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099